

歌声をひびかせて心をつなげよう おぼろ月夜

(教科書 p.12~13)



- ・教科書12・13ページをひらきましょう。
- ・インターネットで下の URL から、「おぼろ月」を聴くことができるようにしましょう。
 中学校-教芸 教科書掲載 歌唱教材ライブラリー <https://textbook.kyogei.co.jp/library/category> 小学校/
 →「小学生の音楽 6」→「こころのうた (共通教材)」
- ・もしくは、教科書13ページのQRコードを読み取っても聴くことができます。

歌詞の表す情景を思いうかべながら、曲想のふさわしい表現について考えましょう。

やってみよう 1 教科書を見ながら「おぼろ月夜」を聴きましょう。



「好きだな、きれいだな」など、心に残ったところを見つけながら聴きましょう。歌詞に、印をつけましょう。

聴いた感想

一、菜の花畑に 入り日うすれ
 見わたす山のは かすみ深し
 春風そよぶく 空を見れば
 夕月かりて においあわし

二、里わのほかげも 森の色も
 田中の小道を たどる人も
 かわずの鳴く音も かねの音も
 さながらかすめる おぼろ月夜

月 さらに歌詞の表す情景を思い浮かべるために

教科書13ページを読み、当てはまる言葉を書きましょう。むずかしい言葉については、教科書13ページで調べてもいいですね。



かすみ深い などに、ぼんやりとかすんで見える月のことを
 と、よんでいます。この歌には から、
 へと移っていく春の情景がえがかれています。

やってみよう 2 「おぼろ月夜」を歌ってみましょう。

教科書の12ページの楽譜を見ながら、くり返し歌ってみましょう。
 音符を指でなぞりながら歌ってみると、**旋律の音の高さの変化**や、**旋律のまとまり**に気付くヒントになります。
 歌う時には、その場にあった声の大きさを歌いましょう。



やってみよう 3 「強弱の変化」から「おぼろ月夜」の情景を感じ取って歌ってみましょう。

① 「おぼろ月夜」の楽譜の強弱の変化は、下のようになっています。

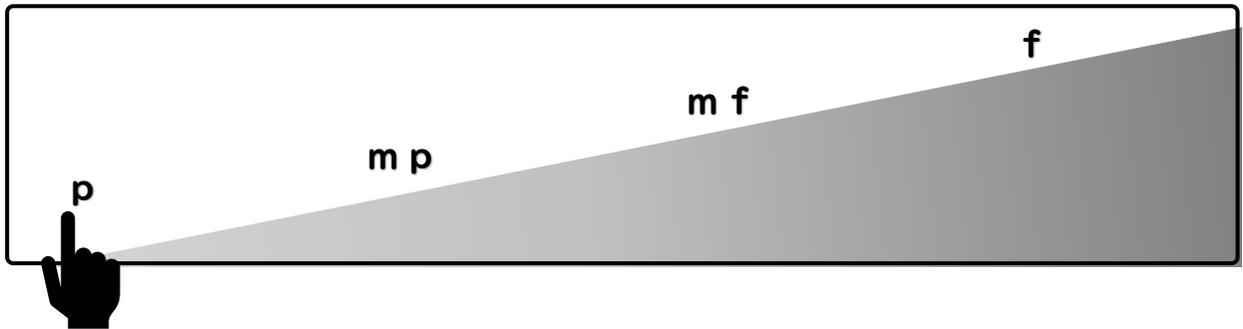
教科書の楽譜をみて、 に当てはまる強弱記号を書いてみましょう。

菜の花畑に入り日うすれ 見わたす山のは かすみ深し 春風そよふく そらを見れば 夕月かかりで においあわし

<input type="text" value="p"/>	< >	<input type="text"/>	< >	< >	<input type="text"/>	< >	< >
--------------------------------	-----	----------------------	-----	-----	----------------------	-----	-----

② 強弱の変化の様子を、下の「強弱記号の表」を使って、指で追いながら、歌ったり、聴いたりしてみましょう。

「好きなところ」や「曲の感じが変わったと感じるところ」を見つけてみましょう。



やってみよう 4 歌ったりする中で、どんな情景が思いうかんできましたか。そこには、どんな音楽の特ちょうがありましたか。(旋律や強弱に着目してみましょう)



自分の考えと似ている意見はありますか？ちがうところはあるですか？自分なりの言葉で書いてみましょう。

曲の最後のところで、音も低くなって小さくなり、落ち着いていく。日が暮れてきて、やさしい色の月が光っている感じが思いうかんだ。

周りが少しずつ暗くなっていくけれど、「春風そよふく」のところでは、少しもり上がってくるので、ふわっと温かい風に包まれている感じが思いうかんだ。

月ふりかえりましょう。

① 歌詞の表す情景を思いうかべることができた。

(*^ ^)v (^^) (-_-)

② 曲のよさや美しさを感じて歌うことができた。

(*^ ^)v (^^) (-_-)